

教員養成の目標及び目標達成のための教育計画

健康福祉学部教職課程

社会福祉学科

①教員養成の目標

社会福祉に関して幅広く学ぶことのできる本学科では、福祉と教育の双方にわたって知識と技術を身に付けた「福祉のわかる教員」の養成を目指しています。教職に対する強い情熱、人間の発達についての理解、教科に関する専門知識などの教員として最低限必要な資質能力を確実に身に付けることはもちろんのこと、社会的弱者に対する理解を深め、援助技術を学び、そして社会の福祉の状況を客観的に分析できる能力をも有した教員の養成に取り組んでいます。

②目標達成のための教育計画

社会科・公民科・福祉科それぞれの教科に関する専門知識を身につける科目と同時に、対人援助技術や福祉サービスに関する知識など、福祉関係の科目を履修するカリキュラムを設けています。福祉の知識は、社会的弱者に対する理解を深めることになり、対人コミュニケーションの技術は、授業のみならず教科外の指導にも活かすことができます。3年次に福祉施設での実習を行い、社会福祉現場の実態や福祉サービス利用者への支援を経験的に理解したうえで、4年次に教育実習を行います。

スポーツ健康福祉学科

①教員養成の目標

生涯にわたる生徒の健康・体力・安全の保持・増進を図るために、生涯スポーツとしての学校体育に対する知識と実践的指導力を身につけるとともに、明確なビジョンのもとに専門性の高い指導力を発揮することができるマネジメント力と協調性やコミュニケーション力等を備え、福祉の心を持つ人間性豊かな保健体育科教員を育成します。

②目標達成のための教育計画

保健体育授業の目標・内容・方法・評価に関する実践的指導力を養うためのカリキュラムと教育環境を整備しています。

4年間を通して各種運動の基礎的・基本的・系統発展的運動技能やその専門的指導力を身につけるとともに、2年次では生徒理解のための学校見学、3年次では授業実践力を高めるための模擬授業、そして、4年次に教育実習及び教職実践演習を行います。